

校長室だより

No. 29

平成30年11月16日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず
加藤嘉一

就学時健康診断にあたり思うこと ー子供の減少に対応する改革ー

本日来年度の新入学児童のための健康診断が行われます。各家庭の御事情で今回本校で実施できない家庭があったり、今後お仕事の関係で転出する子供や転入する子供もいますので、全員の子と会えるわけではありませんが、楽しい日です。保護者の方には、入学時の説明と教育講演会（講師：本校25代校長の鶴田紀美子先生）も開きます。初めての出会いになる方がいらっしゃると思いますので、こちら少し緊張してお迎えしますが、本校の教育を理解していただき、安心して入学の準備をしていただきたいと思います。

第5表 学区別・年齢別(各歳別)人口 平成30年4月1日現在				
H30 学年	年齢	六ツ美中部		
		男	女	合計
	0歳	19	18	37
	1	17	11	28
	2	27	26	53
	3	18	14	32
	4	24	28	52
	5	17	17	34
1年	6	18	26	44
2年	7	33	25	58
3年	8	16	23	39
4年	9	23	26	49
5年	10	31	28	59
6年	11	36	35	71
	12	25	21	46
	13	30	22	52
	14	31	31	62

注1：年齢の境は、4月1日生と2日生との間に設定してあり
注2：町・字・地番によって決められた通学区を元に集計

左表は、岡崎市統計ポータルサイトの人口表(平成30年4月1日現在)を基に見やすく加工したものです。これを見ますと、今後、児童数が少しずつ減っていくことが読み取れます。特に本年度の6年生71名が卒業し、新入学児30数名が入学してくれる予定ですので、全校児童315名から280名くらいになります。現時点で5年後(創立150周年)を計算すると220名くらいまで減少するようです。(実際

はいつもこの表より人数は増えますので、平成32年度以降の新入児は、表より3~10名くらい多くなるとわたしは読んでいます。)学級数もこれまで通常学級2学級が当たり前感覚でしたが、2学級と1学級の学年が半々になることが予想されます。

今後、登下校(集団登校・下校)、学年、体育祭の赤白対抗等行事、部活動、PTA活動、教室等学校施設の運用のあり方、教員数減少に伴う様々な配置の再検討など、対応を考えていかねばなりません。子供が減ることは何か寂しく感じますが、この人数でよいことはたくさんあります。現在市内小学校の1/4以上(13校/47校)は、全校児童数300名以下の学校です。それらの学校からヒントを得ることも考えています。学校規模も考慮した本校のよさを強みにし、今後の学校運営について追究していきたいと考えています。

新救助袋登場 — 第 5 回避難訓練救助袋の使用 —

今年は、8月に災害トイレ設置のための工事があり、9月には数年に一度の地域防災訓練を実施、続いてついでこの間の10月に、救助袋が新しいものになりました。中部小の防災関係品が充実してきています。

救助袋はこれまで3階から斜めに滑り台の要領で降りてくるもので、上から救助袋を下ろす人と、滑ってくる人のために下で袋をもち補助する人が2人必要でした。【11月14日(水) 救助袋体験】今回は狭いスペースで避難でき下の補助は1人で大丈夫でした。しかし、3階から降りるといのは、やはり怖いものです。経験して安心感をもてるとよいと思いますし、なんでも頭で知識としてもっているよりも経験で理解する効果は絶大です。今回14日(水)の避難訓練でこの体験をしました。



先生たちから中部小のみんなへおすすめの本紹介

— 「小学生におすすめの本」「小学生のうちに読んでおきたい本」第2弾 —

読書週間は終わりますが、先週に引き続き先生たちのおすすめの本紹介です。

紹介者	おすすめの本	作者等	おすすめポイント
古賀範和先生	月夜のみみずく	ヨーレン	擬音が多く使われ、情景がイメージしやすい詩。(図書室に3冊あり)
今泉 力先生	びりっかすの神さま	岡田 淳	本気で力を尽くす価値に気付かせてくれる本。
渡邊桃子先生	教室はまちがうところだ	蒔田晋治	手をあげるのがはずかしいと思っている人に読んでほしい本。
太田美佳先生	たぬき学校	今井誉次郎	学校での話をたぬきがおもしろおかしく話す楽しい本。
玉村紗也加先生	わたし、五等になりたい!	岸川悦子	読み終わると登場人物全員を好きになる本。②階廊下「福祉の本」にあり
熊谷英里子先生	おどる12人のおひめさま	エロール・ル・カイン	絵がきれいな本。おひめさまたちが朝になるといつもぼろぼろに。

11月21日(水) 「県内一斉ノー残業デー」に取り組みます

愛知県では、労働団体、経済団体、行政、有識者とともに「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」を設置し、働く人の仕事と生活の調和を促す「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動2018」を実施しています。この運動の趣旨を踏まえ、11月21日(水)の「県内一斉ノー残業デー」を定時退校日とするなど、時間外勤務の縮減に向けた積極的な取組が行われるよう通知がありました。

本校でも、この取り組みを行う予定です。職員の勤務終了時刻は、16時45分です。御理解ください。